

放課後等デイサービス就学児サポート確認調査書

記入日 令和 年 月 日

対象児

生年月日

特別支援学校（ 小学部 中学部 高等部 ）

小学校 ・ 中学校 ・ 高等学校

学校名

特別支援学級 通常学級（通級指導教室利用 あり ・なし）

（保護者）

（対象児との関係）

留意事項

- ①この書類は、対象児が放課後等デイサービスを利用するにあたり、市役所で聞き取り調査を行うための基礎資料になります。聞き取りには、20分程度かかりますので、事前にご自宅等で記入したものを持参ください。
- ②「家庭」、「学校」、「放課後等デイサービス等施設」のうち、2か所以上でみられる対象児の状態（行動）について記入してください。
- ③「学校」や「放課後等デイサービス等施設」での様子がわからない場合は、相談支援専門員や施設職員等に状態を確認の上、記入してください。**
- ④「できたりできなかつたりする場合」は、「できない状況」に基づき判断してください。
- ⑤「◆行動の特性」における（支援の頻度）については、調査日前の1か月間の状態で判断してください。
- ⑥「◆行動の特性」における（支援の頻度）については、1番頻度の高いものを記入してください。
- ⑦後日、記入内容について、東温市社会福祉課障がい福祉係から確認のお電話をすることがあります。

（記入についての問合せ先）

東温市社会福祉課 障がい福祉係

TEL 089-964-4406

※ 該当する項目に○を記入してください。

① 食事（複数回答可）

- 介助を要しない。
- 集中して食べられないため、見守りや声かけ等の支援（身体に触れない支援）が必要。
- おかずをひと口大に刻む等の支援が必要。
- 栄養補助として経管栄養（胃ろう、腸ろう等）や中心静脈栄養を行っている。
- 経管栄養（胃ろう、腸ろう等）や中心静脈栄養を行っていて、全面的な支援が必要。
- 食べ物をフォーク、スプーン等でさす、すくう行為ができない。
- 家族や施設職員が隣について口に運ばないと食事することができない。

② 入浴（複数回答可）

- 介助を要しない。
- 見守りや声かけ等の支援（身体に触れない支援）が必要。
- 身体や髪、顔を洗う・拭くのに部分的な支援が必要。
- 身体や髪、顔を洗う・拭くのに全面的な支援が必要。

③ 排せつ（複数回答可）

- 介助を要しない。
- 見守りや声かけ等の支援（身体に触れない支援）が必要。
- ズボン、パンツの上げ下げができない。
- トイレへの移乗ができない。
- 自分で拭き取りができない、又はできても全面的なやり直しが必要。
- 尿意・便意を理解できないため、周囲に伝えることができない。
- ストマ装具、おむつ等を使用して、全面的な支援が必要。

④ 日常生活における必要な場所への移動や外出（複数回答可）

- 介助を要しない。
- 見守りや声かけ等の支援（身体に触れない支援）が必要。
- 筋力低下や疲労感、呼吸困難等のため、頻繁に休憩が必要。
- 敷居等の段差で車いすを押す等部分的な支援が必要。
- 常に腕を組んだり、手をつなぐ、車いすを押す等、常時の付き添いが必要。

⑤ コミュニケーション（意思疎通）（複数回答可）

- 日常生活に支障がない。
- 特定の者（家族、教員、施設職員等）であればコミュニケーションできる。
- 会話以外の方法（手話、筆談等）でコミュニケーションできる。
- 独自の方法（身振りや仕草、オウム返し等）でコミュニケーションできる。
- 重度の知的障害、精神障害等のため、コミュニケーションできない。
- コミュニケーションできているかどうか判断できない。

⑥ 説明の理解

- 説明を全て理解し、それに反応（返事、うなずき、無視等）する。
- 説明を全ては理解できず、説明に応じた行動ができない。
- 説明を理解できているか判断できない。

◆ 行動の特性

対象児の行動について、日常生活に支障が生じており、支援を必要とする場合は○を、日常生活に支障がなく支援の必要がない場合は×を記入してください。
(複数回答可、判断が難しい場合は空欄で構いません。)

- ⑦ 周囲が驚いたり、迷惑となるような大声や奇声を出す。
 物などを使って周囲に不快な音を立てる。
 (“○”の場合、支援の頻度)
 年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)
- ⑧ 食べられないもの(玩具等)を口に入れたり、飲み込んだりする。
 異食行動を未然に防ぐため、異食しそうなものを周囲に置かないようにしている。
 (“○”の場合、支援の頻度)
 年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)
- ⑨ 無意識に身体が動き、それを抑えられない。
 おしゃべりを自分でコントロールできない。
 夢中になりすぎて周りが見えなくなったり、集中しすぎて行動の切り替えが難しい。
 突然の予定変更があると行動が停止したり、落ち着きがなくなる。
 特定の考え、物等に対する強いこだわりのため、行動が停止したり、落ち着きがなくなる。
 (“○”の場合、支援の頻度)
 年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)
- ⑩ 感情の波が激しく、自分でコントロールできない。
 自分の発言や行動を抑えることができない。
 突然の予定変更があると突然大声を出したり、興奮する等のパニック状態になる。
 特定の考え、物等に対する強いこだわりのため、突然大声を出したり、興奮する等のパニック状態になる。
 (“○”の場合、支援の頻度)
 年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)
- ⑪ 自傷行為(自分の体を叩く、傷つける、髪を抜く、床や壁に頭を打ちつける等)がある。
 ↳ (具体的な状況:
 ↳ 習慣性 突発的
 ↳ 傷跡が残る 傷跡は残らない
 (“○”の場合、支援の頻度)
 年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)
- ⑫ 他人を叩く、髪の毛を引っ張る、蹴る等他人を傷つける行為がある。
 壁を壊したり、ガラスを割ったりする等、他人を傷つける危険性がある。
 (“○”の場合、支援の頻度)
 年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)
- ⑬ 急に他人に抱きつく。 急に他人に接近する。
 断りもなく物を持ってきてしまう。 他人や他人の物をのぞき込む。
 周囲の迷惑になるような収集癖がある。 物を壊す、衣類を破く。
 急に服を脱ぐ。 服(下着等)の中に手を入れる。
 痰や唾を吐き飛ばしたり、人につける。
 (“○”の場合、支援の頻度)
 年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)

⑭ 関心が強い物や人(対象が明確でない場合も含む。)を見つけたら、突然そちらへ走って
いってしまう等、突発的な行動がある。

飛び出し等、危険の認識に欠ける行動がある。

(“○”の場合、支援の頻度)

年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)

⑮ 食事を理由とした、大幅な体重の増減がある。

特定の食品しか食べられないため、栄養剤等を摂取している。

食べ物や飲み物の過食(飲)または拒食により、医療機関を受診している。

(“○”の場合、支援の頻度)

年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)

⑯ てんかん

発作なし

発作あり → 服薬 あり・なし 直近の発作 年 月 日

(“○”の場合、支援の頻度)

(頻度) 年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)

⑰ 気分が憂うつで悲観的になったり、激しい落ち込みにより思考力が低下する。

気分の高揚により活動性が高まるが、気が散りやすく失敗することが多い。

(“○”の場合、支援の頻度)

年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)

⑱ 特定の考え、物、人等に対する強いこだわりのため、特定の行為を反復したり、儀式的な
行為にとらわれている。例)必要以上に手を洗う、必要以上に施錠を確認する等

(“○”の場合、支援の頻度)

年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)

⑲ 人に会うと緊張したり、強い不安が生じるため、外出ができない。

1か月以上引きこもり状態である。

家族や家族以外の社会参加(学校、施設、地域行事等)の機会を拒否する。

集団の中にも一緒に行動できない。

(“○”の場合、支援の頻度)

年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)

⑳ 読み書き

日常生活に支障がない。

見守りや声かけ等の支援(身体に触れない支援)が必要。

書き写しやなぞり書きはできるが、内容を理解していない。

学習障害のため、読み書きは困難。

よく見る文字(自分の名前等)の形は覚えているが、文字として認識していない。

読み書きの全てを行えないため、全面的な支援(代読・代筆等)が必要。

その他、対象児の行動でお困りの点がありましたら記入してください。

(支援の頻度)

年に1回以上 月に1回以上 週に1回以上 ほぼ毎日(週5日以上)